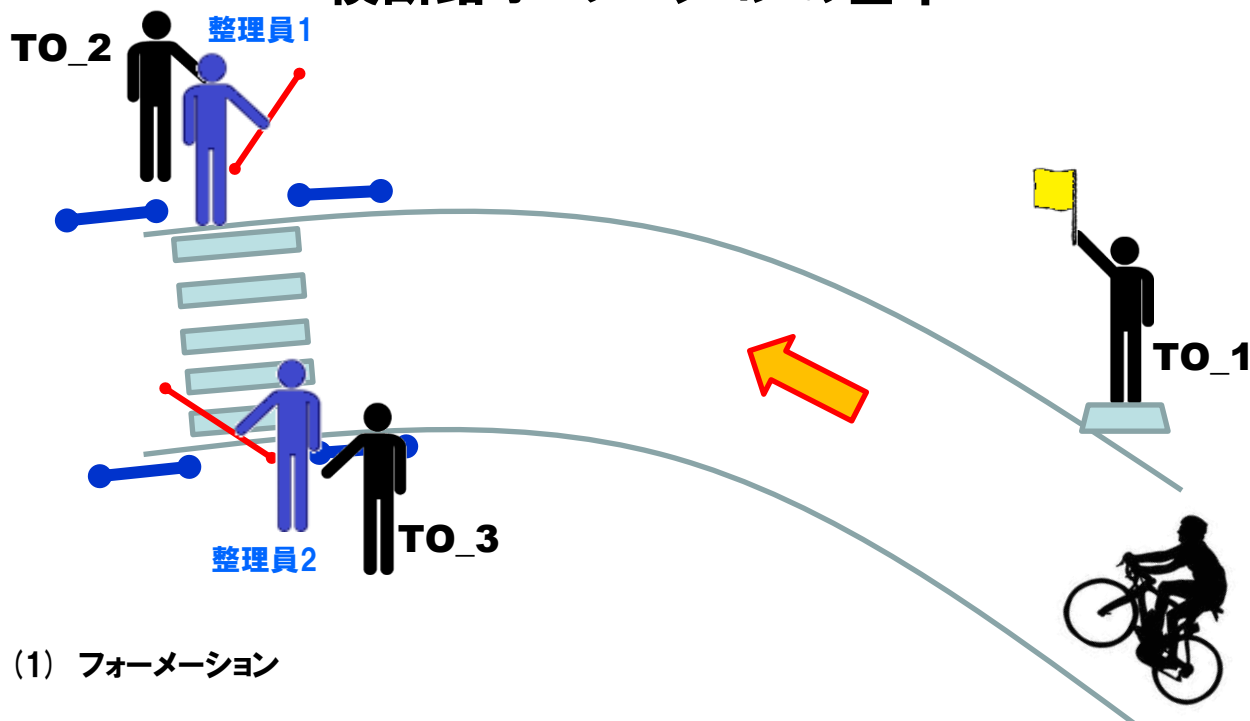


2023 WTCS 横浜大会

横断路オペレーションの基本



(1) フォーメーション

- ・1つの横断路につき、3名のT0 (T0_1～3)。
- ・T0_1は、競技コースの横断路より上流側に立ち、選手の接近を知らせる。
- ・T0_2とT0_3は、T0_1の選手接近の合図で、**整理員**に横断路閉鎖を指示する。
- ・T0の立ち位置は、T0_1は選手の接近を早く把握できて、かつT0_2/3に見えやすい位置、T0_2/3はT0_1を容易に視認できて、かつ整理員に指示しやすい位置。

(2) 必要備品

T0_1：手旗(黄色)、踏み台

T0_2, 3：横断路を閉鎖するためのコーンバー、又はフェンスに縛り付けたロープ

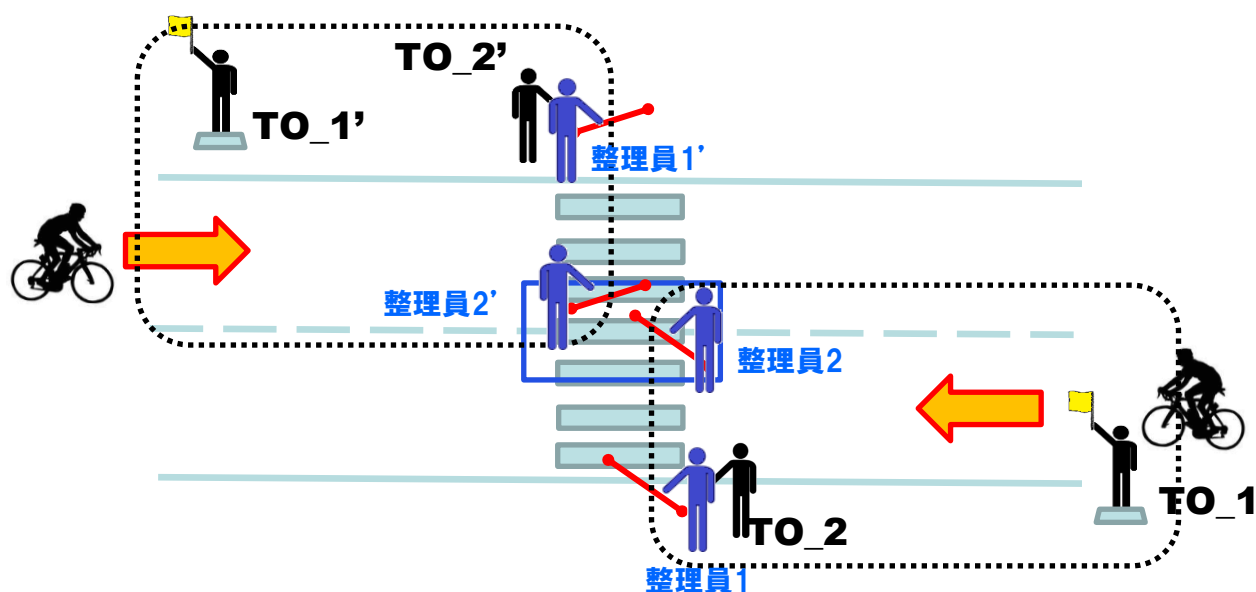
(3) オペレーション

- ① 各T0、**整理員**の立ち位置は、**競技コースの外側**。
特に、選手が接近していたら(見えたら)、絶対に**競技コース内に入らない**こと。
- ② T0_1の立ち位置は、T0_2,3から視認でき、選手の接近をできるだけ早く確認できる位置。
選手が接近したら、旗を挙げる。 ※ 事前に、合図の仕方を、T0同士で合意しておくこと。
- ③ T0_2,3は、T0_1の選手接近の合図で、横断路内にいる人に速やかに横断するように促し、
競技コース内の横断路に人がいないようにする。
コーンバーやロープで、横断路に人が進入しないようにする。
- ④ 選手が接近していない場合、T0_2,3は、横断する人を速やかに横断できるように、
右側通行、或いは左側通行を促し、横断路上で横断者同士が交錯しないように促す。

(4) 応用編

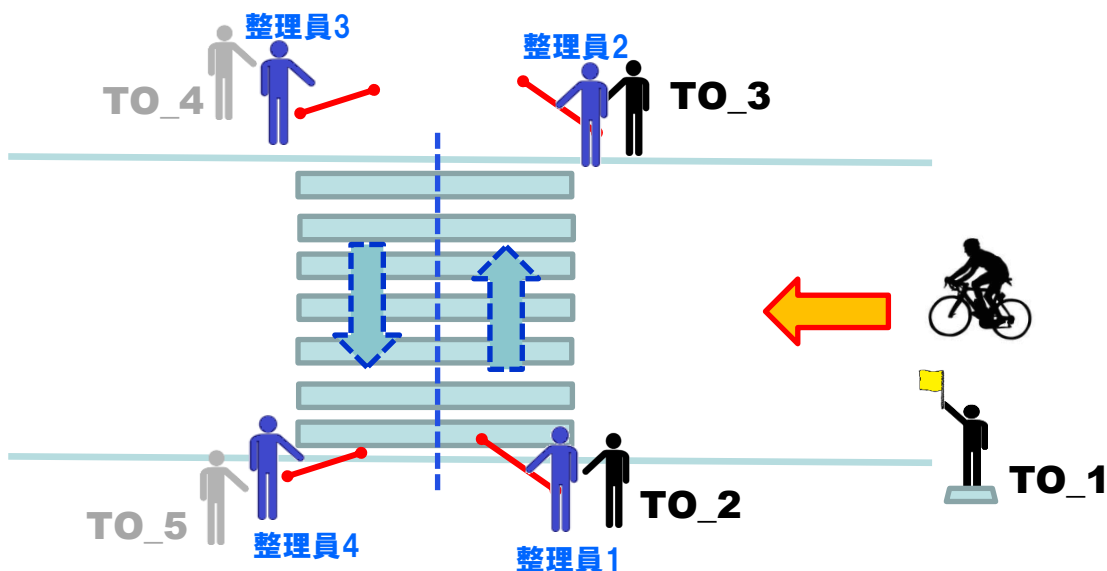
① 競技コースが往復で構成される場合。

道路の中央部に中州エリアを作り、2段階で横断するように誘導する。
往路と復路の横断路のオペレーションは、別々に、独立させる。



② 横断路の幅が広い場合。

横断路内を往復の一方通行にし、横断路の幅方向に2名ずつの**整理員**配置にする。



※ 整理員がいない場合は、TOが横断路を開閉する。



2023 WTCS 横浜大会

リタイヤ（自己棄権、ラップアウト）選手の対応

選手が担当エリア内で棄権した場合

- ① 当該選手からアンクルバンドを受け取り、時刻と当該選手のレースナンバーを確認する。
当該選手には、歩道から山下公園のリカバリーエリアへ戻るように伝える。
- ② 受け取ったアンクルバンドは、チーフTOに引渡し、チーフTOは無線で本部へ**リタイヤ情報(レースナンバー、時刻、リタイヤ理由)**を連絡する。
- ③ チーフTOは、各レース終了後に受け取ったアンクルバンドを競技本部(KnTUテント)へ届ける。